

令和4年度 入学者選抜試験問題

国 語

〔100点〕
〔50分〕

実施日：令和4年1月6日（木）

※ 下記の〈注意事項〉をよく読み、監督者の指示があるまで開かないこと。

〈注意事項〉

一 開始前 一

1. 試験時間は10：20～11：10の50分であり、途中退室は認めない。
2. 監督者の〈開始〉の指示があるまで、この問題冊子の中を開かない。
3. 解答用紙には、解答欄のほかに、受験番号、氏名の記入欄があるので、下記を参照し記入・マークすること。
 - 受験番号欄 上段に受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。
 - 氏名欄 氏名・フリガナを記入すること。
4. 解答用紙に汚れがある場合には、挙手で監督者に知らせること。

一 開始後 一

1. この問題冊子は23ページである。確認してページの落丁、乱丁、印刷不鮮明等がある場合は、挙手で監督者に知らせること。
2. 解答は、すべて解答用紙の所定の欄へのマークによって行うこと。
例えば

40

 と表示のある問いに対して ③ と解答する場合は、次の(例)のように解答番号40の解答欄の③にマークする。

(例)

解答 番号	解 答 欄				
	1	2	3	4	5
40	①	②	●	④	⑤

3. マークはHBの鉛筆で行い、所定欄以外にはマークしたり、記入したりしないこと。
4. 解答用紙は汚したり折り曲げたりしないように特に注意すること。
5. 訂正は、消しゴムであとが残らないように完全に消し、かすが残らないようにすること。
6. 質問等がある場合は、挙手で監督者に知らせること。ただし、問題に関する質問は受け付けない。

(問題は次のページから始まる)

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～9)に答えよ。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

問1 本文中の（ a ） ～ （ e ） に入る語句として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つずつ選びなさい。ただし、それぞれ一度しか使えない。

解答番号は（ a ） 、（ b ） 、（ c ） 、（ d ） 、（ e ）

- ① ただし ② しかし ③ したがって ④ つまり ⑤ まず

問2 本文中の（ I ） ～ （ III ） に入る語句として最も適切なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は（ I ） 、（ II ） 、（ III ）

- | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| I | ① 相対的 | ② 空間的 | ③ 形式的 | ④ 循環的 | ⑤ 象徴的 |
| II | ① 対他的 | ② 対目的 | ③ 対価的 | ④ 俗人的 | ⑤ 環境的 |
| III | ① 配分的 | ② 絶対的 | ③ 矯正的 | ④ 物理的 | ⑤ 象徴的 |

- 問3 次の一文は、本文の《1》～《5》のいずれかから抜き出したものである。文が入る箇所として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 9

これは民事訴訟の対象であり、民法に基づいて裁判官が適切な矯正を実行するのである。

- ① 《1》 ② 《2》 ③ 《3》 ④ 《4》 ⑤ 《5》

- 問4 傍線部A「正義の人であることは、倫理的な意味をもつ」とあるが、その具体的説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 10

- ① 正義の人であることが、正しい行為を行うという善と結びついているということ。
② 正義の人であることが、常に普遍的で絶対的な価値を持っているということ。
③ 正義の人であることが、何が正しいのかを裁く行為と同様に考えられているということ。
④ 正義の人であることは、当時の世界では非常に重要視されていたということ。
⑤ 正義の人であることは、その魂において普遍的なものを目指しているということ。

問5 傍線部B「他者のものなる善」とあるが、この具体的説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 11

- ① 正義とは決して自分ひとりで行うことはできず、常に他者との協力により実行できるということ。
- ② 正義とは自分自身が善であることではなく、他者にとって善である行為を行うことを指すということ。
- ③ 他者を常に意識することによって、魂の善良さを磨くことができ、正義を実行することができるということ。
- ④ 正義とは常に他者のものであつて、決して自分自身の魂の秩序とは結びつかないものであるということ。
- ⑤ 人間は正義を追い求めても自分のものにすることはできず、正義とは常に他者が持っているものであるということ。

問6 空欄 X に入るものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 12

- ① 正義とは人間の内なる魂の調和である
- ② 正しい人とは正義を実行できる人である
- ③ 正義は何らかの結果を生み出すものである
- ④ 正義の実現には相応の犠牲が必要である
- ⑤ 正義が共同体の善を目指すものである

問7 傍線部C「均等に」のこの文脈での説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 13

- ① AとBの所有している財の量が等しくなるように財Dを配分すること。
- ② 財Dを二対一の比率で分け、BにAの二倍の量を配分すること。
- ③ 財Cと財Dを合わせ、全体を二分してAとBとで配分すること。
- ④ AとBが所有する財Cの比率に従って、同じ比率で財Dを配分すること。
- ⑤ 財Cはそのままに、財Dを均等に分割してAとBとに配分すること。

問8 傍線部D「他国だからといって、無法なことを仕掛けてよいわけではない」理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 14

- ① 無法なことを行うことは、全人類に共通している博愛の精神を踏みにじることであり、いずれは自国も同じような目にあうことが歴史によって証明されているから。
- ② 戦争においても守るべき信義があり、信義を守らずに無法なことを仕掛けることは、その戦争の正当性を失い、国際社会の理解を得ることができないから。
- ③ 無法であることは正義を否定することになり、正義を否定することは、全ての社会に共通する秩序を破壊し、自国もまた依って立つべき基盤を失うことになるから。
- ④ 一国に対する無法な行為であっても、時としてそれが全人類に対する犯罪となることがあり、そのような行為が国際社会の批判を浴びて、自国の滅亡につながることもあるから。
- ⑤ 他国であっても同じ人類であり、人類であれば共通した法ノモスに従うことが必要であり、無法な行為は大きな恥辱、非道な行為として後々まで批判されるから。

問9 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 15

- ① アリストテレスは、伝統的なギリシアの正義感を踏まえて、正義を人間の魂の内的な調和の問題として考察したが、ストア派的な色彩の強いローマの哲学者だったキケロは、公共善としての正義の概念を確立した。
- ② アリストテレスの考えるもつとも基本的な正義とは、ポリス市民の徳の高い状態のことであり、相手がどのような人間であれ、その利益を重んじ、市民間の調和をはかることを重視する。
- ③ アリストテレスが説く普遍的な正義とは、配分的な正義と矯正的な正義に分類することができ、幾何学的な均等は、配分的な正義の均等であり、算術的な均等は、矯正的な正義の均等である。
- ④ アリストテレスの説く正義は、支配するものは支配するもの同士の間で、支配されるものは支配されるもの同士の間といった同質で均等性を有する人々の間で成立する正義である。
- ⑤ キケロはどんなに低い地位の人々に対しても正義は守られるべきであると説き、ポリス市民であれば、奴隷であっても雇用人であつても、その利益が重んじられなくてはならないとした。

第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～9）に答えよ。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

問1 カタカナで書かれた(ア)～(オ)の傍線部の漢字と同じ漢字を含むものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は(ア)

16

(イ)

17

(ウ)

18

(エ)

19

(オ)

20

(ア) サツカク

- ① カクギによって決定した。
- ② 社会人としてのジカクを持つ。
- ③ 彼女の能力はベツカクだ。
- ④ 選挙で当選がカクテイする。
- ⑤ 両者をヒカク検討する。

(イ) タンサク

- ① 論文のテンサク指導を受ける。
- ② 家の近くをサンサクした。
- ③ サクイ的に情報を操る。
- ④ サクインを引いて調べる。
- ⑤ 人からサクシユする。

(ウ) タイ|ダ

- ① 使節団をカ|ン|タ|イ|する。
- ② これでダ|イ|タ|イ|しまし|よう。
- ③ 従業員のキン|タ|イ|を管理する。
- ④ ジ|タ|イ|は|と|も|深|刻|だ。
- ⑤ 速|や|か|に|タ|イ|キ|ョ|する。

(エ) ドキ|ョ|ウ

- ① キ|ョ|ウ|ギ|の意味では該|当|し|ない。
- ② 食料をキ|ョ|ウ|キ|ュ|ウ|する。
- ③ ク|ツ|キ|ョ|ウ|な|身|体|を|も|つ。
- ④ キ|ョ|ウ|キ|ン|を|開|い|て|語|り|合|う。
- ⑤ キ|ョ|ウ|ジ|ュ|ン|な|態|度|を|示|す。

(オ) キ|ョ|コ|ウ

- ① キ|ョ|コ|ウ|の|世|界|を|構|築|す|る。
- ② 彼|女|を|委|員|長|に|ス|イ|キ|ョ|す|る。
- ③ キ|ョ|ヒ|を|投|じ|て|開|発|を|行|う。
- ④ 要|求|を|キ|ョ|ゼ|ツ|す|る。
- ⑤ ト|ツ|キ|ョ|を|出|願|す|る。

問2 傍線部A「忘れることが最大の記憶法である」の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 21

- ① すぐに必要な情報以外は、身体が取り込まず、脳も「忘れた」と判断して、次の経験に備えるということ。
- ② 当面いらない情報は、あえて「忘れる」ことによって、身体にしっかりと保管されるようになるということ。
- ③ 「忘れる」をくり返すことによって、身体がその情報を入れてもいいと納得して、キープされるということ。
- ④ 丸暗記という身体生理に逆らった行為を有効なものにするには、倉庫の空きを増やすことが必要であるということ。
- ⑤ 入ればこそ忘れられるのであり、身体に入った記憶は、脳が忘れても身体という倉庫に保管されているということ。

問3 空欄 X に入るものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 22

- ① 脳がいらないと判断した
- ② 当面いらない情報が入った
- ③ 再利用できないものが入った
- ④ 入る必然のないものが入った
- ⑤ 入れても忘れてしまうものが入った

問4 傍線部B「歩く内に「昔の記憶」がよみがえってくる」理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 23

- ① 身体がその道を歩くことで、身体がいらないと判断していた情報を、脳が活用するように身体に働きかけたから。
- ② 記憶の管理人である脳には、その道を歩くという記憶と、かつて自分が行ったことの記憶が一緒に保管されていたから。
- ③ 身体の中で眠っていたかつての記憶は、その道を歩くことと共にあったため、その道を歩くことによって引き出されたから。
- ④ かつて自分が歩いていた場所には、自分自身の思い入れがあり、それを身体が察知して脳の目の前に差し出したから。
- ⑤ 人間にとって「過去を懐かしむ」ことの必要性が脳には理解できないが、身体はその必要性を理解しているから。

問5 傍線部C「俺はこう見た、お前はと思う？」という会話を、私は沈黙の内に、隣のやつとやっていた」とあるが、その具体的な説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 24

- ① ある瞬間に「特徴」となる表現を歴然とさせる人の顔を描くことによつて、教師や同級生の顔を見ている内にその人の人柄がわかったことを、隣の席の友人に対して表明していた。
- ② 筆者は高校時代の授業中に教師や同級生の特徴を捕らえて、「見た」と思われるものをそのまま描き、隣の友人がその特徴に共感してくれるかどうかを確認した。
- ③ 絵とは「絵描きの手がしゃべった痕」であるから、似顔絵を描くことは、私が似顔絵の対象者に対して話しかけていることと同義であることを、隣の席に友人に確認していた。
- ④ 高校時代の筆者は、授業中に教師や同級生の似顔絵を描いて、隣の席の友人を笑わせるという明確な目的を得て、「見た」ものをそのまま客観的に描けるようになった。
- ⑤ 筆者は授業が退屈であり、「受験」という重圧から逃れるために似顔絵を描いていたが、隣の席の友人も自分と同じように授業が退屈に感じているかどうかを確認していた。

問6 本文 の中のaとeの文を意味の通るように並べたものとして、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 25

- ① a—e—c—b—d
- ② a—e—b—d—c
- ③ c—a—e—b—d
- ④ e—d—c—b—a
- ⑤ c—b—e—d—a

問7 空欄 Y に入るものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 26

- ① 身体の頭のよさを計る基準
- ② たくわえられた思考のデータ
- ③ 思考するための準備の期間
- ④ 表現主義とは異なる行動様式
- ⑤ 成長するために必要なもの

問8 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 27

- ① 「身体の中に入らなかった情報」は、「忘れた情報」であり、入った記憶は身体の倉庫に保管されるから、脳が「忘れる」ということはなく、適切な時機に活用することができる。
- ② 身体に保管されていた記憶が、身体の実践によってたまたま出てくることがある、ということを理解した人は、出てくるだけの記憶に意味づけをし、ホラーを誕生させる。
- ③ 筆者の持つ能力に「品詞分解」の能力があるが、これは「身体に叩き込まれている」もので、頭で理解したことよりも、身体に叩き込まれたものの方が生活の中で活用できる。
- ④ 「わからない」が身体に宿っている状態は「無能」や「不器用」であるが、脳が身体に蓄積された経験を検証することで、「わからない」ことから「わかる」へと羽化ができる。
- ⑤ 「身体の頭のよさ」は計りようがないため、「バカかもしれない」とか「へん」というものが筆者につきまとうが、筆者は自身の身体を非常に役に立つものと考えているので、不都合はない。

問9 本文の冒頭にある二重傍線「知性する身体」の具体的な説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 28

- ① 「思考の基盤」となる身体は、身体が納得したものを取り込んで、その膨大な経験や記憶のストックをキープするとともに、「わからない」を排除しないがために、「わからない」を「方法」へと変えることで、知性を可能にするということ。
- ② 身体は、「わからない」という不快を排除しないため、「自分の無能を認めて許す」ことができ、自分自身が何も知らない、何もわからないという原点に立つことができるゆえに、知性の基盤となるものであるということ。
- ③ 脳は、時として「能力にも価しない能力」を膨大に蓄えているので信用できないが、身体は、脳が蓄えている膨大な経験や記憶を、機会がくると「この記憶を活用せよ」と働きかけることができるので、知性を可能にするということ。
- ④ 身体と経験と友人の使いようが、「わからない」を「方法」にするが、身体は、成長の過程で友人とさまざまな経験を積むことでその「無能」さや「不器用」さを理解し、知性へと「羽化」することの必要性を学ぶということ。
- ⑤ 脳を身体よりも優位におくことは、無能なものに絶対に権限を与えてしまうが、身体は、経験から学ぶという現場から離れることはないため、「わからない」ことをその都度検証して、「わからない」をなくしていくことができるということ。

(白紙ページ)

(白紙ページ)

